



迫る「地震」に 備えましょう



自助

**自分の命は
自分で守る**

共助

**みんなの地域は
みんなで守る**

岐阜県では、県民総ぐるみで自助と共助の底上げを図るため「災害から命を守る岐阜県民運動」を行っています。みなさんも日頃から地震への備えを行ったり、地域の防災活動に参加しましょう。

岐阜県

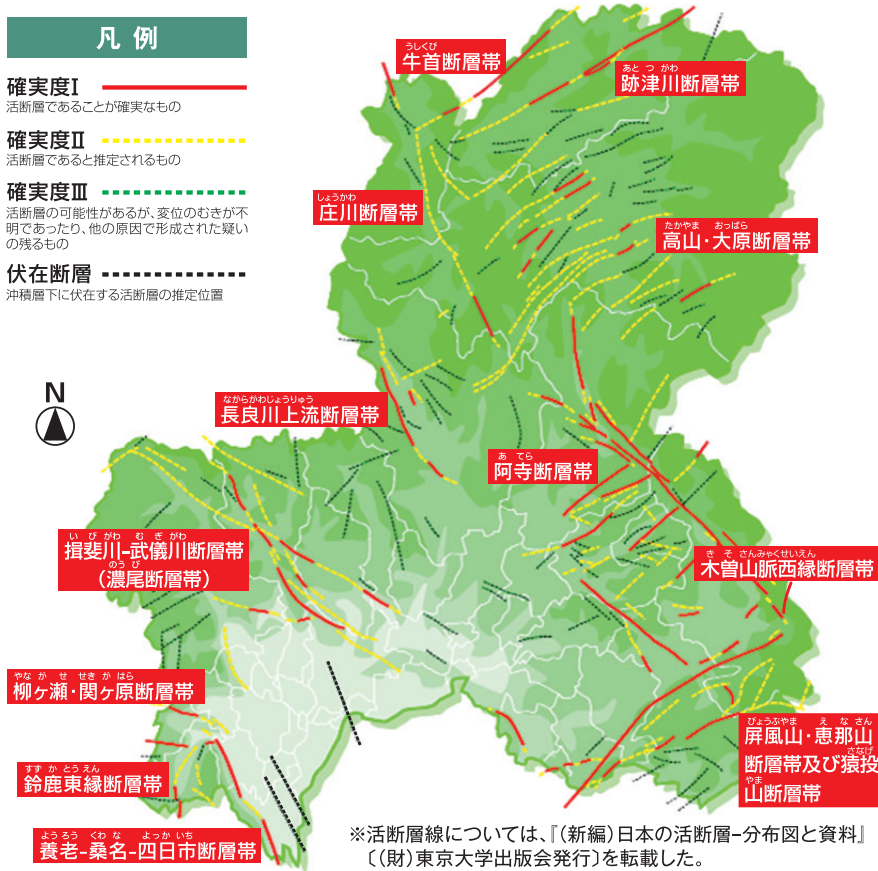
監修：清流の国ぎふ 防災・減災センター長 杉戸 真太

岐阜県の活断層図

岐阜県で起きる可能性のある地震について「知る」

凡例

- 確実度Ⅰ** —— 活断層であることが確実なもの
- 確実度Ⅱ** - - - - 活断層であると推定されるもの
- 確実度Ⅲ** - · - · - 活断層の可能性があるが、変位の向きが不明であったり、他の原因で形成された疑いの残るもの
- 伏在断層** - - - - - 沖積層下に伏在する活断層の推定位置



※活断層線については、『(新編)日本の活断層-分布図と資料』(財)東京大学出版会発行)を転載した。

岐阜県には100を超える活断層が密集しており、県内のどの地域においても震度6強以上の内陸直下地震が発生する可能性があります。

活断層とは

- 活断層は過去に繰り返し活動し、今後も再び活動すると考えられる断層です。内陸直下地震は、この活断層の活動により発生します。

詳細は岐阜県活断層図で確認できます。



岐阜県活断層図

検索

岐阜県地震被害想定 内陸直下地震

岐阜県では、主な活断層によって発生する地震の被害想定調査を行いました。

揖斐川-武儀川断層帯地震 (濃尾断層帯) [M7.7]

揖斐川-武儀川(濃尾)断層帯は、揖斐川町から本巣市、岐阜市北部、山県市南部を経て関市に向かって南東に延びる長さ約52kmの断層帯です。

建物被害(棟)		人的被害(人)		避難者(人)
全壊	半壊	死者	負傷者	
77,000	130,000	3,700	30,500	272,000

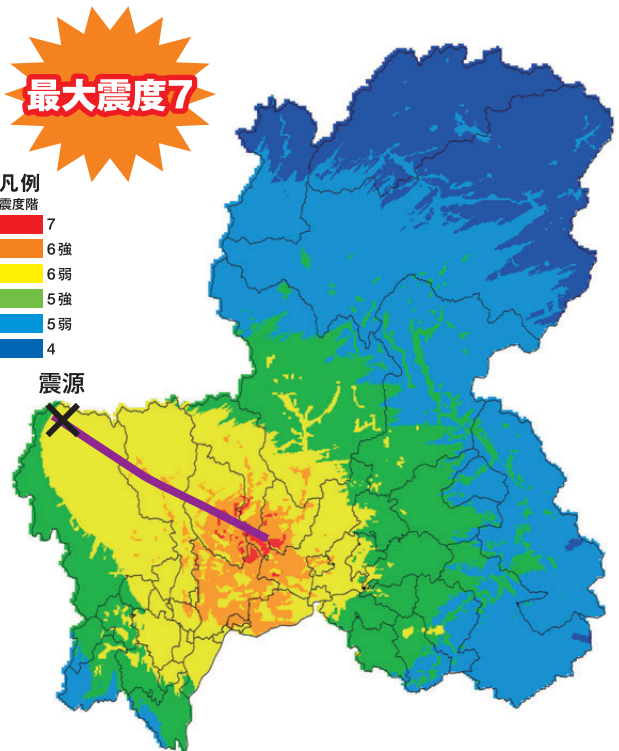
上記は冬の朝5時発生を想定しています。

岐阜及び中濃圏域のそれぞれ一部で震度7が予想され、県内で相当の広範囲にわたり震度6弱以上の揺れが予想されます。また、県の南部等で地盤の液状化による甚大な被害が予想されます。

最大震度7

- 凡例 震度階
- 7
 - 6強
 - 6弱
 - 5強
 - 5弱
 - 4

震源



ようろう くわ な よっ か いち
養老-桑名-四日市断層帯地震
 [M7.7]

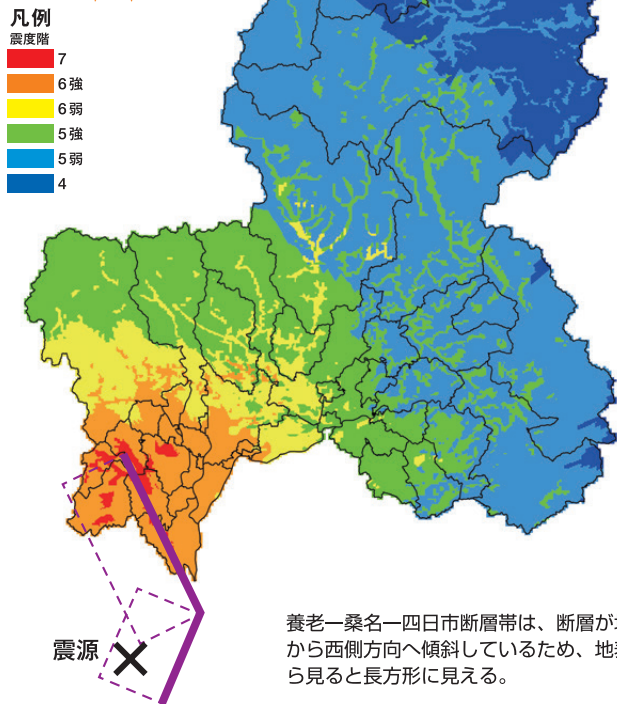
養老-桑名-四日市断層帯は、垂井町から三重県桑名市を経て四日市市まで、ほぼ養老山地と濃尾平野の境界及び養老山地の南に続く丘陵地の東縁に沿って延びる長さ約60kmの断層帯です。

建物被害(棟)		人的被害(人)		避難者(人)
全壊	半壊	死者	負傷者	
68,000	113,000	3,100	26,000	240,000

上記は冬の朝5時発生を想定しています。

西濃圏域で震度7が予想され、岐阜及び中濃圏域の一部で震度6強以上の揺れが予想されます。また、岐阜・西濃圏域の南部等で地盤の液状化による甚大な被害が予想されます。

最大震度7



養老-桑名-四日市断層帯は、断層が地表から西側方向へ傾斜しているため、地表から見ると長方形に見える。

なが ら がわじょうりゅう
長良川上流断層帯地震
 [M7.3]

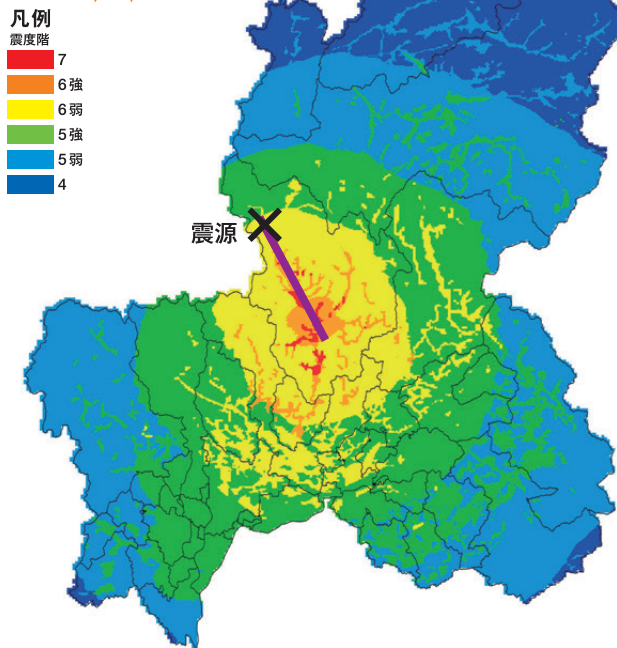
長良川上流断層帯は、美濃三河高原の北部、長良川上流域に位置し、郡上市白鳥町から同市八幡町に向かってに延びる長さ約29kmの断層帯です。

建物被害(棟)		人的被害(人)		避難者(人)
全壊	半壊	死者	負傷者	
26,500	58,600	1,100	11,700	87,000

上記は冬の朝5時発生を想定しています。

中濃圏域の一部で震度7が予想され、岐阜、中濃、東濃及び飛騨圏域の多くで震度6弱以上の揺れが予想されます。

最大震度7



びょうぶ やま えなさん さなげやま
屏風山・恵那山及び猿投山断層帯地震
 [M7.7]

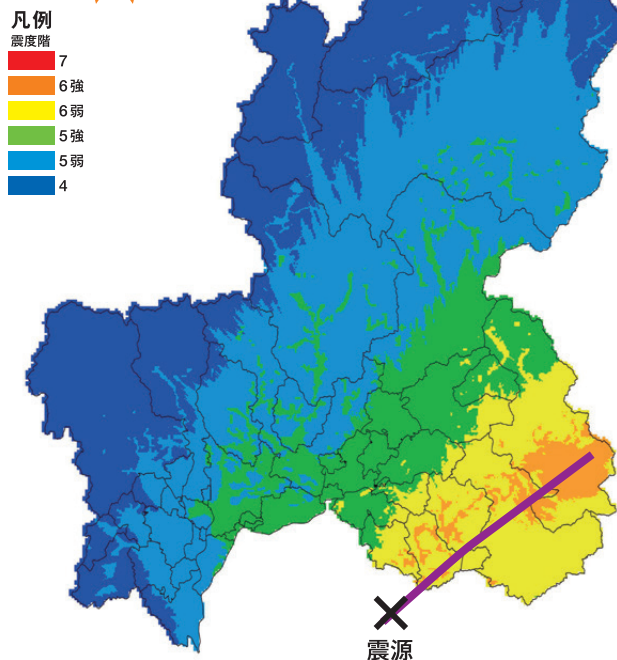
屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯は、恵那山地、三河高原と美濃山地との境界に位置し、中津川市から愛知県豊田市に延びる長さ約56kmの断層帯です。

建物被害(棟)		人的被害(人)		避難者(人)
全壊	半壊	死者	負傷者	
31,000	52,000	1,700	13,200	85,000

上記は冬の朝5時発生を想定しています。

東濃圏域で震度6強が予想され、中濃及び飛騨圏域の一部で震度6弱の揺れが予想されます。

最大震度6強



あてら
阿寺断層帯地震
 [M7.9]

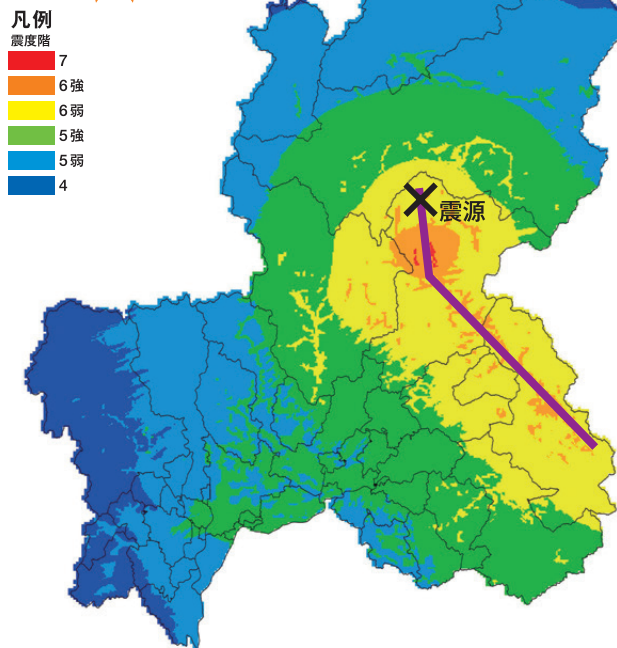
阿寺断層帯は、阿寺山地と美濃高原の境界に位置し、下呂市から中津川市加子母を経て、中津川市北東部に延びる長さ約66kmの断層帯です。

建物被害(棟)		人的被害(人)		避難者(人)
全壊	半壊	死者	負傷者	
20,500	42,400	1,100	9,700	53,000

上記は冬の朝5時発生を想定しています。

飛騨圏域で震度7が予想され、中濃及び東濃圏域で震度6弱以上の揺れが予想されます。

最大震度7



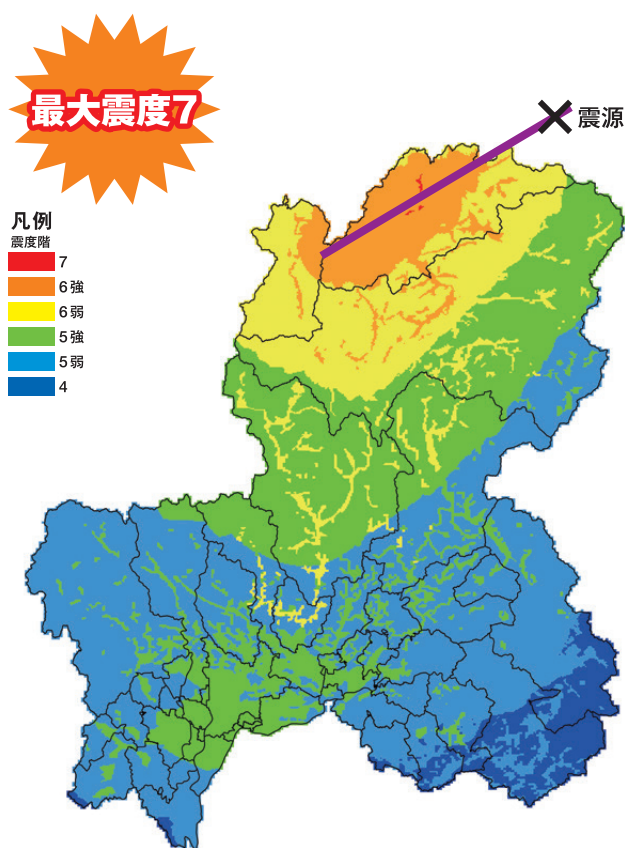
あと つ がわ
跡津川断層帯地震
 [M7.8]

跡津川断層帯は、飛騨高地の北部の富山県南部から岐阜県北部に位置し、富山県中新川郡立山町から同県富山市大山町、飛騨市を経て白川村に至る断層帯です。全体の長さは約69kmで、ほぼ東北東-西南西方向に延びています。

建物被害(棟)		人的被害(人)		避難者(人)
全壊	半壊	死者	負傷者	
20,000	39,000	980	9,000	56,000

上記は冬の朝5時発生を想定しています。

飛騨圏域で震度7が予想され、中濃及び岐阜圏域の一部で震度6弱以上の揺れが予想されます。



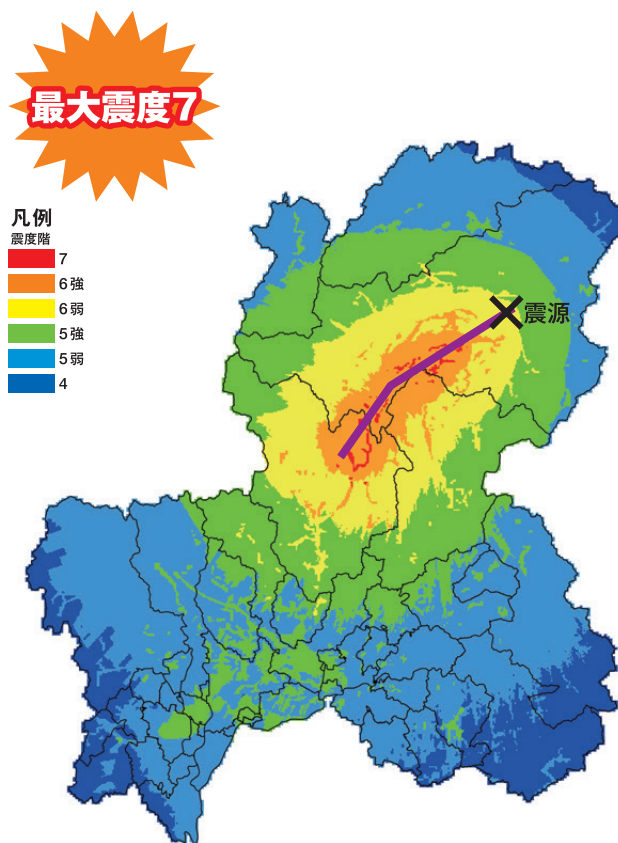
たか やま おっ ばら
高山・大原断層帯地震
 [M7.6]

高山・大原断層帯は、飛騨山地に分布する活断層帯です。高山市及びその周辺の市に分布する断層帯で、ほぼ北東-南西方向に並走する多数の断層からなっており、その分布範囲は概ね40km四方に及んでいます。

建物被害(棟)		人的被害(人)		避難者(人)
全壊	半壊	死者	負傷者	
17,000	32,000	870	7,800	45,000

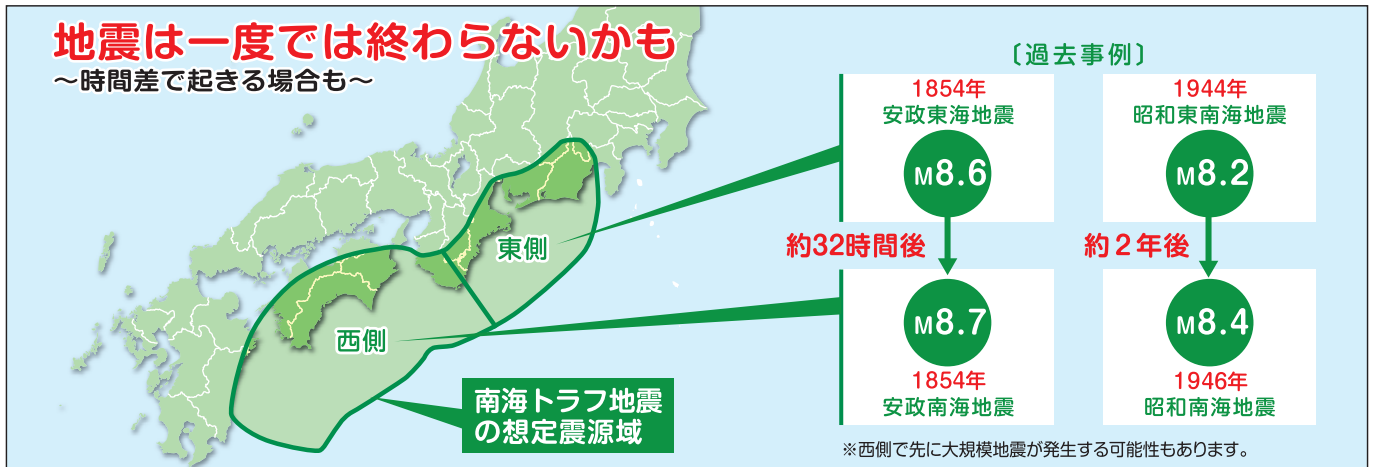
上記は冬の朝5時発生を想定しています。

飛騨圏域で震度7が予想され、中濃及び岐阜圏域の一部で震度6弱以上の揺れが予想されます。



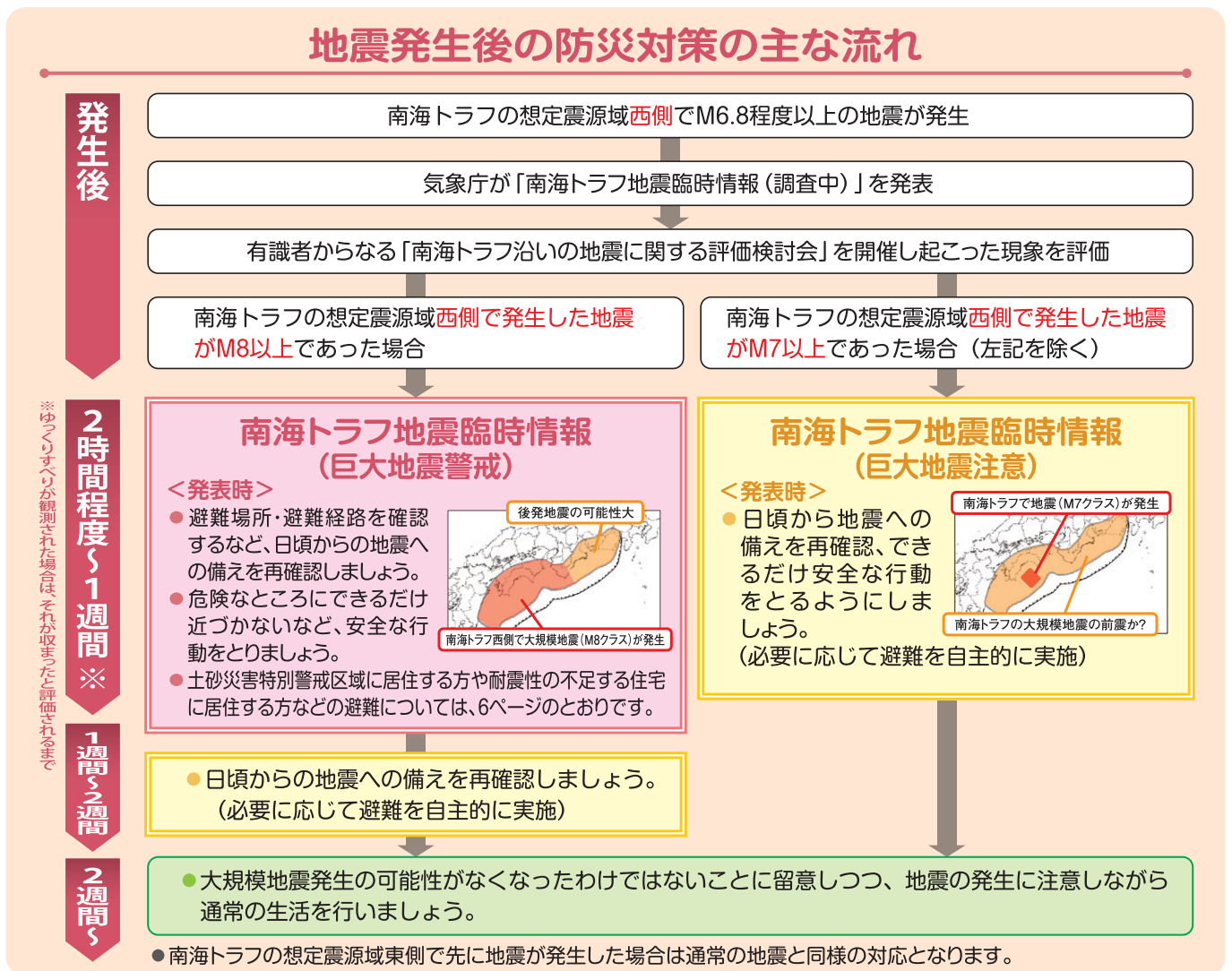
南海トラフ地震への備え

南海トラフとは、静岡県駿河湾から四国沿岸、九州東方沖まで続く深さ4,000mのプレートの境界です。この地域で起こりうる地震の総称が「南海トラフ地震」といい、ほぼ100年から150年に1度、大規模地震が繰り返し発生しています。



令和元年5月から気象庁による「南海トラフ地震臨時情報」の提供が開始されました。この情報は、南海トラフの想定震源域内の一部の領域で大規模地震が発生し、残りの領域で後発による大規模地震発生の可能性が高まったと評価された場合に発表されます。

地震発生後の防災対策の主な流れ



気象庁 南海トラフ地震臨時情報

検索



南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合の対応

県では、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合、災害リスクや地域特性等を踏まえ、後発地震に備えて事前に避難を検討すべき地域等として以下のとおり定めています。

(1) 急傾斜地等における土砂災害に備えた避難

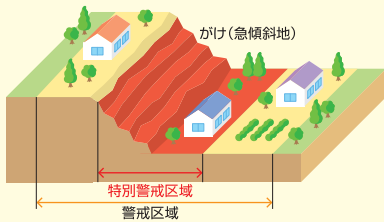
「土砂災害特別警戒区域」に居住する方を基本として、最初の地震発生後、原則1週間避難することが望ましい。

(2) 耐震性の不足する住宅の倒壊に備えた避難

耐震性が不足する住宅に居住する場合、できるだけ安全な知人・親類宅や避難所に避難するなど、原則1週間身の安全を守るための行動をとることが望ましい。

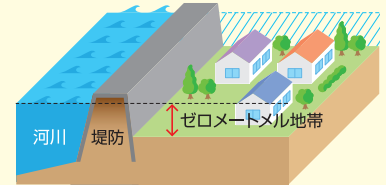
土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)について

土砂災害警戒区域のうち、急傾斜地の崩壊等に伴う建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域です。



海拔ゼロメートル地帯について

満潮時の平均海水面よりも低い地域のことをいいます。岐阜県の南西部は、長良川、木曾川、揖斐川の木曾三川に囲まれた海拔ゼロメートル地帯が広がっています。地震後は、液状化現象が発生し、堤防沈下による洪水リスクが高くなります。

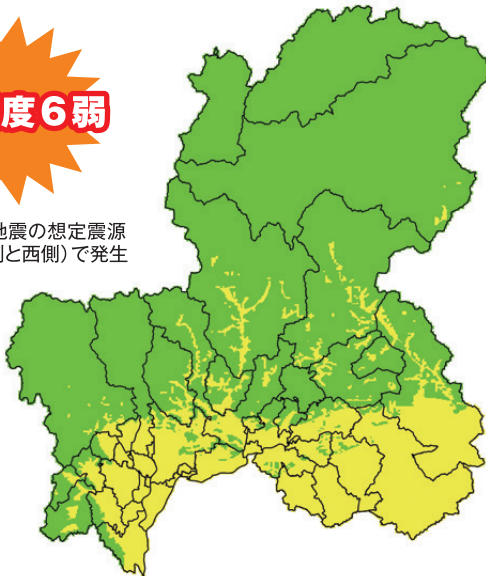


南海トラフ地震の県内被害想定

最大震度6弱

南海トラフ地震の想定震源域全体(東側と西側)で発生するケース

凡例
震度階
7
6強
6弱
5強
5弱
4



強い揺れが3~4分続くことにより大きな被害が発生する可能性がある。

建物被害(棟)		人的被害(人)		避難者(人)
全壊	半壊	死者	負傷者	
35,000	100,000	470	13,000	161,000

上記は冬の朝5時発生を想定しています。

岐阜県の地震災害

岐阜県ホームページには過去に県内で発生した地震について掲載しています。その他に県が実施した地震被害想定の詳細や県内の活断層図なども掲載しています。

岐阜県地震災害

検索



岐阜県広域防災センター

岐阜県広域防災センターでは、県内で発生する可能性のある地震について分かりやすく解説しています。また、地震体験装置により、過去の地震の揺れを体験することができます。



【地震体験装置】

震度7までの揺れを体験できます。いざというとき慌てないために、体験してみませんか。

岐阜県広域防災センター

検索



防災対策チェックシート

身の回りの対策について「確認する」

地震は県内のどこでも発生する可能性があります。
あなたの身の回りの防災対策について確認してみましょう。



自宅について

- Q1 自宅がある地域の想定震度や液状化危険度を知っていますか。
- Q2 自宅がある地域は、土砂災害特別警戒区域ですか。
- Q3 自宅の周辺には、ブロック塀や石塀などはありませんか。
- Q4 自宅の地震対策をしていますか。(昭和56年以前に建築された木造住宅の場合、耐震診断は実施済みですか。)

→ (6ページで詳しく解説)

→ (10ページで詳しく解説)

→ (8ページで詳しく解説)

【耐震診断を実施された方のみ】

- Q5 耐震診断の結果、「耐震性がない」と判断された場合、耐震改修は実施済みですか。



自宅の部屋について

- Q1 家具や家電の転倒防止策やガラス類の飛散防止等の対策は行っていますか。
- Q2 就寝時に地震が発生した際に、家具等が倒れてこないよう対策は行っていますか。
- Q3 地震により停電が発生した場合に安全に避難できるよう対策をとっていますか。
- Q4 備蓄品の準備はしていますか。

→ (8ページで詳しく解説)

→ (9ページで詳しく解説)

防災訓練への参加・日ごろの備えについて

- Q1 この1年間で、地域で実施する防災訓練や防災に関する講習会や勉強会等に参加しましたか。
- Q2 南海トラフ地震臨時情報を知っていますか。
- Q3 防災対策や地震発生時の安全な行動について、日ごろから家族で話し合っていますか。

→ (6ページで詳しく解説)

→ (11ページで確認)

YouTube 公式チャンネル

災害から命を守る動画コンテンツを配信しています。
ぜひご覧ください！

- ハザードマップの確認
- 災害・避難カードの作り方
- 岐阜県総合防災ポータルの使い方 他

チャンネル登録、動画の視聴をお願いします！

命を守る 岐阜県 ユーチューブ 検索



震度、液状化危険度検索

想定される地震による各地区の震度や液状化危険度を各郵便番号のエリアごとに算出した結果を検索することができます。(岐阜大学地震工学研究室)

岐阜県 震度 液状化危険度 検索



清流の国ぎふ 防災・減災センター

岐阜県と岐阜大学が共同設置した「清流の国ぎふ防災・減災センター」では、防災・減災にかかる実践的な人材育成や普及啓発活動などの取り組みを行い、地域防災力の強化を図っています。センターが開催する研修や講座には、防災知識の習熟度に応じて初心者から経験者まで幅広く参加でき、段階的に学ぶことができます。

※センターが実施する
防災講座はこちらから

清流 防災 検索

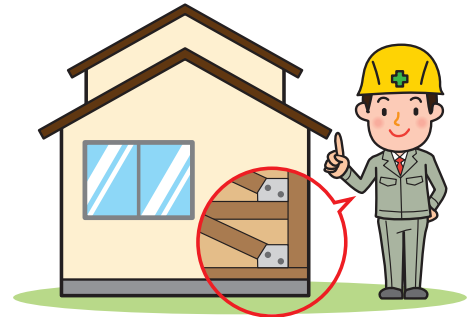


地震に対する備え

防災対策を「確認する」

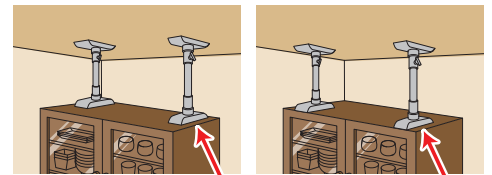
住宅の耐震化

- 昭和56年以前に建てられた建物は、古い耐震基準で建てられているため、大きな地震で倒壊する危険性が高いと言われています。
- 岐阜県内のすべての市町村では、昭和56年5月31日以前に着工した一戸建ての木造住宅を対象に、無料で耐震診断を実施しています。市町村にご依頼いただくと、「岐阜県木造住宅耐震相談士」が派遣され、耐震診断及び概算工事等の情報提供を行います。
- 耐震診断の結果、「耐震性がない」と診断された場合は、耐震改修工事費の一部について補助を実施しています。



家具の固定・配置

- タンスや棚はL型金具などで壁の棧や柱に固定しましょう。
- 引き出しや観音開きの扉にはストッパーなどを取り付け、中身が飛び出さないようにしておきましょう。
- 扉がガラスの場合はガラス飛散防止フィルムを貼っておきましょう。
- 重量のある家具等はできるだけ低い位置に置くようにしましょう。
- 寝室や子ども・高齢者の部屋、出入口付近には重い家具等を絶対置かないようにしましょう。



良い例

悪い例

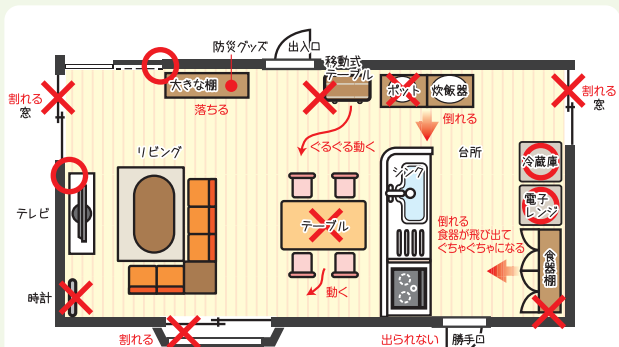
※突っ張り棒で家具を固定する場合、家具の両端の側板部の壁側奥に設置しましょう。

家具の危険チェック

家の中の家具の配置をチェックしてみましょう。

チェック

- 部屋の中をよく観察しましょう。壁、出入口、窓を書きましよう
- ガス台や流し(シンク)の位置を書きましよう
- 食器棚や冷蔵庫などを書きましよう
- テーブルのいすの位置(座る場所)まで書きましよう
- 固定していない家具にはX印、固定している家具にはO印を書きましよう
- 防災グッズ(非常用持ち出し袋)のある場所を書きましよう
- どのような状態になるのか予測を書きましよう



(危険チェック図の一例)

停電への備え

夜間に大規模地震が発生した場合、停電が発生する可能性があります。

- 出口が分からなくなり、床の段差やガラスの破片が見えないなど非常に危険です。リビングや寝室などに懐中電灯などを準備し、安全に避難できるようにしましょう。
- インターネットや携帯電話を利用できないおそれがあります。手動で充電できるラジオや予備のモバイルバッテリーなどを常備するなどしておきましょう。
- 停電復旧時の火災を防ぐため、避難時など自宅を離れる場合はブレーカーを切りましょう。



地震に対する備え

防災対策を「確認する」



家庭での備蓄について

- 地震が発生すると普段どおりの生活ができなくなる事も考えられます。数日間生活できるだけの『備蓄品』を備えておきましょう。
- 目安として最低限3日間程度（できれば1週間分）の水や食料品は備蓄しましょう。
- 家族構成、住居や地域の特性によって必要となるものは異なります。自分や家族にとって本当に必要なものを考えて準備しましょう。
- 賞味期限などと照らし合わせて定期的にチェックし、ローリングストックを行いましょ。

日ごろから実際に震災に直面した時のために備えを心がけておくことが、被害の軽減につながります。備蓄品について確認してみましょう。

家庭備蓄の例

3日間／大人1人の例

できれば1週間分を備えましょう

必需品	<p>水 9L ※1日およそ3L程度 (飲料水+調理用水)</p>	<p>お好みのお茶や 清涼飲料水など も、あると便利!</p>	<p>カセットコンロ・ カセットボンベ×3本</p>
主食 エネルギー 炭水化物	<p>米 1kg ※1食75g程度</p>	<p>乾麺 (うどん・そば・そうめん・ Pasta) ・そうめん1袋 (300g/袋) ・Pasta1袋 (600g/袋)</p>	<p>牛乳 ・長期保存できる牛乳 ・シリアル等</p>
主菜 たんぱく質	<p>カップ麺類 2個</p>	<p>レトルト食品 ・牛丼の素、カレー等5個 ・パスタソース2個</p>	<p>缶詰 (肉・魚) ・お好みのもの5缶</p>
副菜 その他 (適宜)	<p>日持ちのする野菜類 ・たまねぎ、じゃがいも等</p>	<p>野菜ジュース、 果汁ジュース等</p>	<p>調味料 ・砂糖、塩、しょうゆ、めんつゆ等</p> <p>インスタントみそ汁や即席スープ</p>

梅干し、のり、乾燥わかめ等

チョコレートやビスケットなどの菓子類も大事!

ローリングストック

「ローリングストック」とは、普段自宅で利用しているものを少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品等が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

ココがポイント

- ・費用、時間の面で、普段の買い物の範囲でできる
- ・買い置きのスペースを少し増やすだけで済む

備蓄の目安=家族の人数×最低3日分


※できれば1週間分を備えましょう



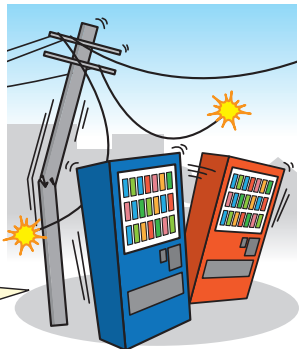
地震が発生した時の行動

地震発生時に適切に「行動する」

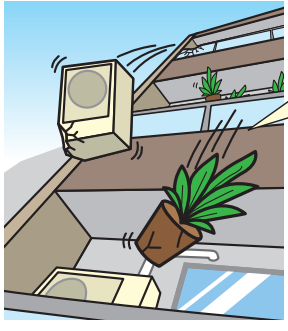
屋外で地震にあったら




●住宅地の路地にあるブロック塀や石塀は、強い揺れで倒れる危険があります。揺れを感じたら塀から離れましょう。



●電柱や自動販売機も倒れてくることがありますので、そばから離れましょう。



●屋根瓦や二階建て以上の住宅のベランダに置かれているエアコンの室外機、ガーデニング用のプランターなどが落下してくる可能性があります。頭の上も注意しましょう。



●強い揺れが起きると、耐震性の不足する住宅が倒壊する場合があります。これによりガレキや窓ガラスが道路に散乱する可能性もあります。

屋内（自宅など）で地震にあったら



●突然大きな揺れに襲われたときは、まずは自分の身を安全に守りましょう。



●あわてて屋外に飛び出さないようにしましょう。



●戸を開けて、出入り口の確保をしましょう。



●棚や棚に乗せてあるものや、テレビなどが落ちてきたりするので、離れて揺れが収まるのを待ちましょう。



●暗闇では、割れた窓ガラスや照明器具の破片でけがをしやすいので注意をしましょう。

帰宅困難者対策

大規模地震等の災害が発生すると、公共交通機関は運行を停止します。しかし、多くの人が一斉に帰宅しようとするため、駅には帰宅困難者があふれます。これにより、駅周辺は人や車で混乱し、パニックを引き起こす可能性があります。二次災害の危険を増大させます。そのため、企業には以下の対応が必要になります。

- 従業員等を一斉に帰宅させることは控えましょう。
- 従業員等に家族との安否確認の方法をあらかじめ決めておくよう促すようにしましょう。



(徒歩帰宅支援ステーション・ステッカー)

●徒歩帰宅支援ステーション

コンビニエンスストア等が徒歩帰宅者を支援します。支援可能な店舗では店頭で左記のステッカーを掲出しています。

【支援内容】

- 水道水やトイレの提供、地図等による道路情報、ラジオ等で知り得た情報の提供

地震発生時にとるべき行動

これまでの内容をもとに、地震が発生したときに慌てず行動ができるよう、とるべき行動について、以下のシートを確認しながら家族で話し合いましょう。

【優先度】

- ①……必ず行うべき行動
- ②……なるべく行う行動
- ③……可能であれば行う行動

緊急地震速報

地震発生

優先度	取るべき行動
①	身構え安全を確保する
①	丈夫な机の下に隠れる
②	窓ガラスや倒れそうな家具から離れる
②	子どもや高齢者のサポートをする
③	出口を確保する
③	家族同士声を掛け合う

揺れが収まった後～避難まで

優先度	取るべき行動
①	火の始末をする。火災が発生した場合は消火活動をする
①	家屋等を確認し、避難が必要か判断する
②	テレビ・ラジオ等で情報収集をする
②	隣近所の安否確認を行う
③	避難に必要な持ち出し品を準備する
③	余震に注意し、倒壊しそうなものに近づかない

避難開始～避難所まで

優先度	取るべき行動
①	ガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを切る
①	避難時に倒れそうな家屋やブロック塀等には近づかない
②	外出している家族がいる場合は、張り紙等をして避難場所を知らせる
②	非常用持ち出し袋を持って避難する
③	近所の避難行動要支援者の避難をサポートする